



キャリアシンポジウム

理学部の進学と就職 2015

2015年 **6月22日** 月 18:00~20:00

本郷キャンパス 理学部1号館 2階 小柴ホール

▶ 福田 裕穂 理学系研究科長：挨拶

▶ 長谷川 哲也 教務委員長：理学系研究科での就職支援

▶ 講演



分子生物学者、M&Aに行く

土居 真樹

1986年生物化学専攻博士課程修了。博士(理学)
イルミナ株式会社 代表取締役社長



研究者を支える仕事
～植物学の現場から全分野の支援機関へ～

貴船 永津子

2011年生物科学専攻博士課程単位修得退学
独立行政法人日本学術振興会
国際事業部人物交流課



天文学者が観る政令市の未来

井原 隆

2010年天文学専攻博士課程修了。博士(理学)
さいたま市議会議員

▶ 総合質疑

▶ 横山 広美 准教授・広報副室長：司会

■ 主催：東京大学大学院理学系研究科 教務委員会・広報委員会

■ 問い合わせ先：東京大学理学部広報室 Tel：03-5841-7585 E-mail：kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

分子生物学者、M&A に行く

土居 眞樹

イルミナ株式会社 代表取締役社長



略 歴

1986年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程修了、同年9月山之内製薬(現アステラス製薬)入社、2001年4月山之内ベンチャー・キャピタル(現アステラス・ベンチャー・マネージメント、在米カリフォルニア州)初代社長就任、2007年6月アステラス製薬執行役員就任、2013年6月アステラス製薬を退社、7月より現職。

研究者を支える仕事

～植物学の現場から全分野の支援機関へ～

貴船 永津子

独立行政法人日本学術振興会 国際事業部人物交流課



略 歴

2011年東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻博士課程単位修得退学、同年4月独立行政法人日本学術振興会に採用、総務部(現人材育成事業部)研究者養成課に配属。2013年10月より現職。

あなたは、「学術振興」という言葉から、どのような仕事内容を思い浮かべますか？植物細胞と日々向き合っていた私が研究者のサポーターとして働く道を選ぶまでにどのようなことを考えたか、また事務職員としてこれまでにどのような業務に携わってきたかをお話します。日本の研究を支える「学振」について知ることで、まだ殆ど研究経験がない人も、特別研究員に採用中あるいは申請中という人も、もしかしたら今後の進路を考えるヒントが得られるかもしれません。

天文学者が観る政令市の未来

井原 隆

さいたま市議会議員



略 歴

2010年東京大学大学院天文学専攻博士課程修了、2010年4月東芝ソリューション株式会社入社、2013年5月トヨタ自動車株式会社入社(出向)、2014年12月トヨタ自動車株式会社退社、2015年4月さいたま市議会議員選挙に初当選(さいたま市中央区)同年5月より現職。

卒業後は、メーカーの研究開発職を経て、前回の地方統一選挙でさいたま市議会議員に初当選いたしました。現在は、まちづくり委員会に所属し、都市開発にも携わっております。私は、学生時代は自分の興味を持てる天文学の研究に没頭し、充実した日々を送っていましたが、ふと自分の人生の時間を何に役立てるのが有意義なのか?と自分の生き方を見つめ直したときに、自分が今後も住み続けていく街のために貢献していきたいという気持ちが強くなりました。みなさまにとって、政治の世界は遠いものかもしれませんが、地方議員は一番身近な生活に関与できる職業であり、理系で培ってきた論理的に物事を考えられる思考は、中長期的な目線で取り組む必要がある大都市の都市計画にとって、大きな力となると考えております。本講演では、私のこれまでの経緯と共に、1)政令市だからこそ出来る街づくり、2)さいたま市の今後の展望、に関しての私の見解を述べさせていただきます。最も遠い宇宙の世界から、最も近い地元の街を見つめるようになった私の話を、ぜひ楽しんでください!

- 参加対象者 大学院理学系研究科大学院生、理学部生、教養学部生
- 主催 東京大学大学院理学系研究科 教務委員会・広報委員会
- 問い合わせ先 東京大学大学院理学系研究科 広報室
TEL : 03-5841-7585 E-mail : kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp